

クラウドバックアップサービス

TB-OASYS

ユーザーマニュアル



株式会社トップ
セキュリティズ TOP

はじめに	P03
1. インストールと初期設定	P04 ~ 06
2. アプリ画面説明	P07
– アプリとWeb管理画面の違い	P07
– ホーム：バックアップ待機中	P08
– ホーム：バックアップ実行中	P09
– バックアップデータの選択：おまかせバックアップ	P10
– バックアップデータの選択：選んでバックアップ	P11
– バックアップデータの選択：ファイルフィルター	P12
– 設定：スケジュール	P13
– 設定：リソース最適化	P14
– 設定：バックアップの接続	P15
– 設定：デュアルバックアップ	P16 ~ 17
– 設定：高度な設定	P18
– 設定：モバイルアプリ	P19
– 設定：環境設定	P20
– 復元	P21
3. Web管理画面説明	P22
– ホーム	P22
– マイコンピューター	P23 ~ 25
– アカウント設定	P26
4. 復元	P27
– アプリからの復元	P27 ~ 30
– Web管理画面からの復元	P31 ~ 32
– リモート復元	P33 ~ 34
5. その他機能	P35
– アップロード	P35
6. バックアップマーカー	P36
7. アプリのアンインストール	P37
8. 動作環境と注意事項	P38 ~ 41

◆このマニュアルについて

このマニュアルは、TB-OASYS（以下、AOSBOX Business DBという）をご利用いただく際、ユーザーとして使用する機能を参照していただくマニュアルとなります。

AOSBOX Business DBの管理者としての使用方法については、別紙管理者マニュアルをご参照ください。

1. インストールと初期設定

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをインストールします。

- ① WebブラウザからAOSBOX (https://aokca.aosboxrs.com/Signin) へアクセスし、管理者から配布されたメールアドレス、パスワードを入力して「ログイン」をクリックします。



- ② 「バックアップ概要」のページが開きますので、画面右上の「AOSBOX Business DBをダウンロード」をクリックします。



インストール時のご注意
インストールには、インターネットへの接続が必要となります。インストールするパソコンのインターネット接続をご確認の上、作業を開始してください。

- ③ ダウンロードした「CloudBackupSetup」をダブルクリックします。



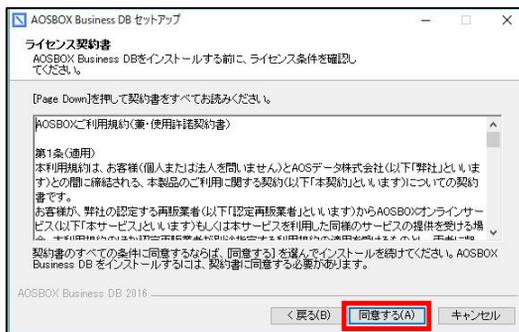
- ④ 「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがありますが「はい(Y)」をクリックします。



- ⑤ 「AOSBOX Business DB セットアップ」ダイアログが表示されます。「次へ(N)」をクリックします。

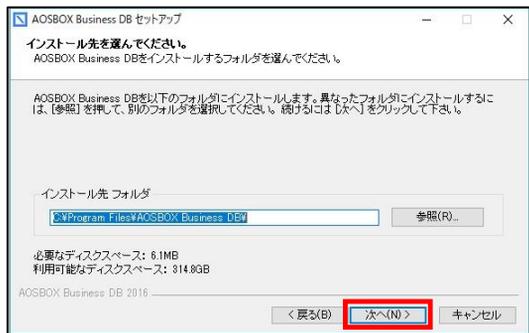


- ⑥ 「ライセンス契約書」が表示されますので、内容をご確認いただいた上で「同意する(A)」をクリックします。

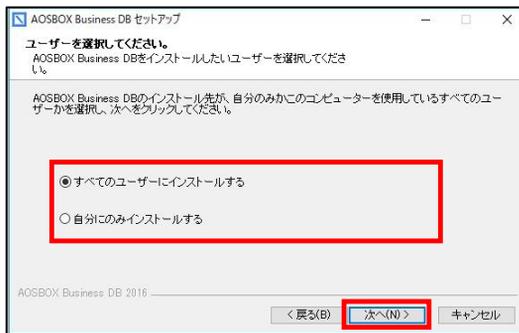


1. インストールと初期設定

⑦インストール先を指定します。特に変更が無い場合はそのまま「次へ(N)」をクリックします。

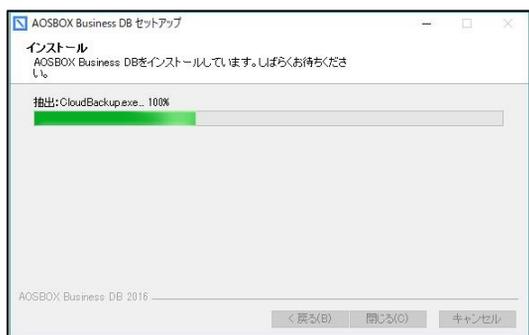


⑧インストール先のユーザーを選択し「次へ(N)」をクリックします。

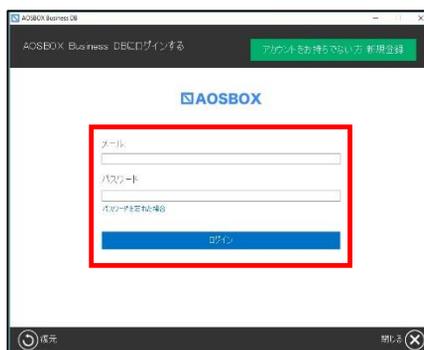


インストール先のご注意
特に必要が無い場合は、インストール先は変更しないでください。また、必要により変更する場合は、必ずインストール先に「AOSBOX」フォルダーを作成の上、そのフォルダーを指定してください。

⑨インストールが開始します。しばらくするとインストールが終了します。



⑩①で使用したメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。ポリシーを設定されている場合は、⑩へ進んでください。



⑩ポリシーを設定されているかどうかは管理者へお問合せください。

⑪「バックアップデータの選択」画面が表示されます。対象カテゴリーにチェックを入れ、画面右下の「→」をクリックします。



⑫「バックアップ設定」画面が表示されます。画面右下の「→」をクリックします。

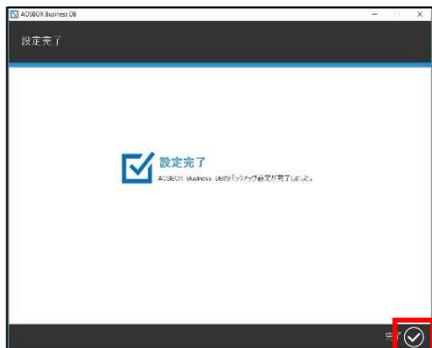


⑪個別にファイル・フォルダーをバックアップしたい場合は、画面上部の「選んでバックアップ」から選択します。

⑫スケジュールとセキュリティ、その他の設定が可能です。以降の章で詳しく説明します。

1. インストールと初期設定

- ⑬ インストールが完了しました。画面右下の「✓」をクリックします。



- ⑭ 「AOSBOX Business DB」ダイアログが表示されます。自動でバックアップを開始します。

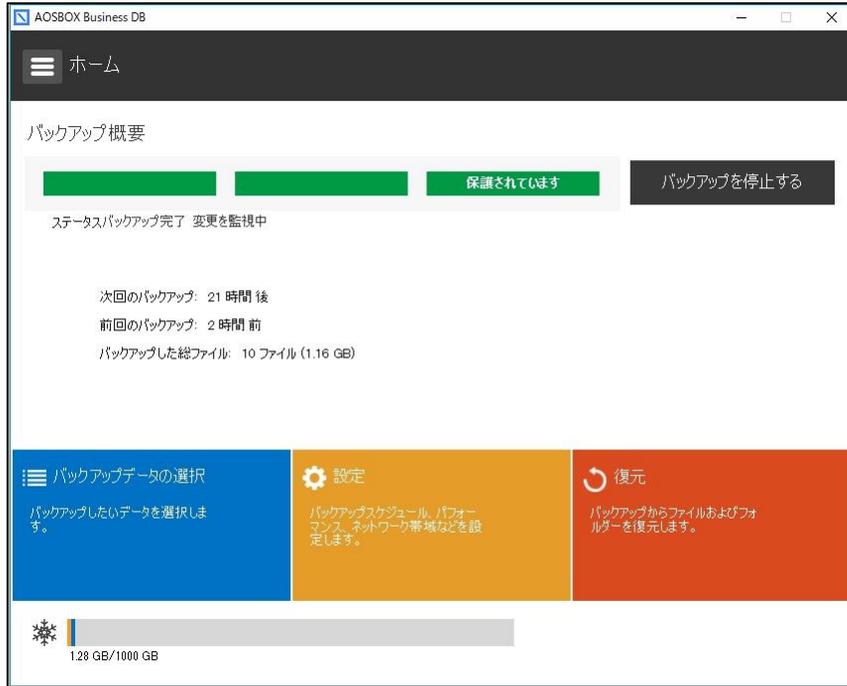


- ⑭ 初回のバックアップは選択したファイルすべてをバックアップするため、時間がかかります。ご了承ください。

※すぐにバックアップを開始する場合は「**今すぐ実行**」をクリックします。

AOSBOX Business DBのアプリとWeb管理画面のできることの違いを説明します。どちらもバックアップデータの復元は可能ですが、主な違いとして、アプリではバックアップの設定、Webではバックアップデータのプレビューが可能です。**※管理者がポリシーを設定されている場合は、アプリの「バックアップデータの選択」「設定」はお使いになれません。**

アプリのホーム画面



アプリでは以下の内容を実施できます。

- ・バックアップしたファイル・フォルダーを復元する
- ・世代管理しているファイルを復元する
- ・削除したファイル・フォルダーを復元する
- ・バックアップしたいカテゴリや、ファイル・フォルダーを選択する
- ・バックアップから除外したいファイル・フォルダーを選択する
- ・バックアップに関わる様々な設定を行う
- ・ファイル・フォルダーを元の場所に復元する

Web管理画面のホーム画面



Web管理画面では以下の内容を実施できます。

- ・バックアップしたファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する
- ・世代管理しているファイルを**プレビュー**、復元する
- ・削除したファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する
- ・バックアップしたファイル・フォルダーを共有する
- ・アカウントの設定を変更する
- ・バックアップしたファイル・フォルダーを別のパソコンからダウンロードする



バックアップ待機中の各詳細状況の表示を説明します。

A 次回のバックアップ: 1日後 今すぐ実行

次回のバックアップが始まる予定時間を表示します。バックアップするファイル（待機中ファイル）がなければ、バックアップは実行しません。待機中ファイルがある場合は「今すぐ実行」が表示されます。「今すぐ実行」をクリックするとバックアップを実行します。

B 前回のバックアップ: 1分前

前回のバックアップが完了してからの経過時間を表示します。1時間以内は分単位で、24時間以内の場合は時間単位で、24時間以上は日数単位で表示します。

C バックアップした総ファイル: 12ファイル (114.93 MB)

バックアップ済のファイルの数と容量を表示します。違う場所に保存しているファイルでも内容が全く同じファイル＝重複ファイルと認識した場合は、1か所のファイルだけをバックアップします。

D 待機中: 1ファイル

次回バックアップされる予定のファイルの数を表示します。待機中ファイルがない場合は次回のバックアップの時間になっても、バックアップは実行しません。また、別のプログラムによりロックされているファイルや、頻繁に更新されているファイル等は、バックアップされずに次回のタイミングまで待機状態になっている場合があります。「XXファイル」をクリックすると次回バックアップするファイルの一覧を表示します。

E 1.28 GB/1000 GB

契約容量の内、バックアップで使用しているバックアップスペースの容量を表示します。黄色で表示されているのは他のユーザーが使用中の容量です。



バックアップ実行中の各詳細状況の表示、基本メニューボタンを説明します。

A 次回のバックアップ：標準モードで実行しています。

バックアップモードを表示します。標準モードと高速モードがあります。バックアップを優先させる場合は「高速モード」で、他の作業を優先させる場合は「標準モード」でご利用ください。

C ネットワーク速度：95.44 Mbps (速度調整)

バックアップに利用しているネットワークの速度を表示します。「速度調整」をクリックすることで、ネットワークの使用帯域を制限することもできます。

B 高速モードに切替

上記の（「高速モードに切替」を表示している）場合、「高速モードに切替」をクリックすると、高速モードになり表示が「標準モードに切替」に変わります。

D バックアップを停止する

バックアップを停止する時にクリックします。バックアップ実行中の時でも実行していない時でも、クリックして、バックアップを停止することが可能です。

E ステータス：アップロード中です：C:\Users\AOS\Documents\Sample Data\Dummy Data\Dummy-300MB-01 (17%) (無視)

バックアップ実行中のファイルの状態を表示します。

F バックアップデータの選択、設定、復元

上記パネルをクリックすると各設定画面に移動します。バックアップするカテゴリやファイル・フォルダーを選択したい場合は青いパネルを、バックアップスケジュールや、バックアップの環境を設定する場合は黄色いパネルを、バックアップしたデータを復元したい場合は赤いパネルをクリックしてください。

「おまかせバックアップ」は、写真、音楽など各カテゴリーごとにまとめてバックアップしたい場合に使用します。

バックアップデータの選択

おまかせバックアップ 選んでバックアップ

ファイルフィルター ※P13参照

除外設定 ※P21参照

バックアップするカテゴリーを選択します。

1.28 GB / 1.000 GB (0 新しいアイテム)

キャンセル 保存

ちょっとメモ

他のバックアップソフトの多くは、ファイル・フォルダーを自ら選択しなければなりません。そのため、新しく追加したファイルをバックアップの対象に忘れることがありました。「AOSBOX」ではカテゴリーを選べば、対象ファイルは自動的にバックアップ対象になるので、バックアップをし忘れることがなくなります。

A バックアップするカテゴリーを選択します。カテゴリー毎のバックアップするファイルの仕様は「6. 動作環境と注意事項」の「バックアップ対象ファイル」をご確認ください。

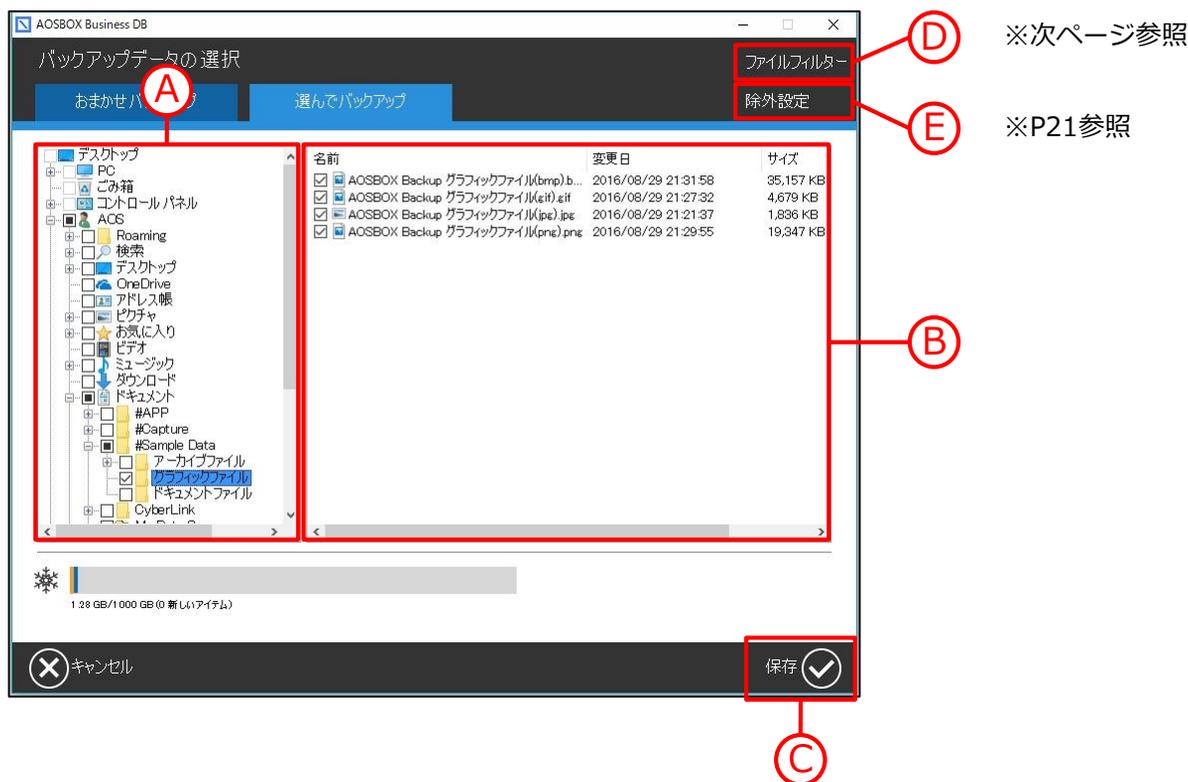
B

1.28 GB / 1.000 GB (0 新しいアイテム)

バックアップスペースの中で、既にバックアップで使っている容量を青色、上記画面で新たにチェックを入れた対象をバックアップするために必要な容量を水色で表示します。

C バックアップしたい項目へのチェックが入れ終わったら「保存」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

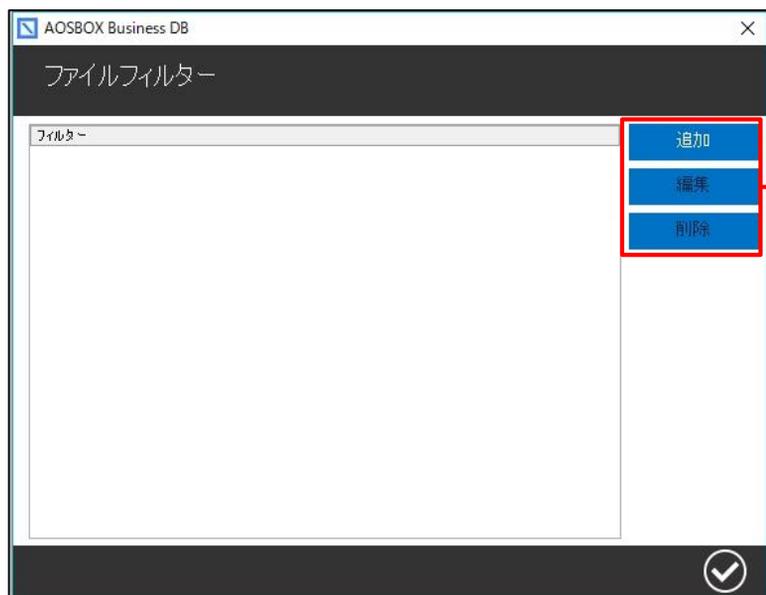
「選んでバックアップ」は、任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップしたい場合に使用します。



- (A)** ツリーウィンドウに表示されているフォルダーを展開して、バックアップしたいファイルが格納されているフォルダーを選択します。
- (B)** リストウィンドウに表示されたファイルのうち、バックアップしたいものにチェックを入れます。
- (C)** ご希望の項目にチェックが入れ終わりましたら「**保存**」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

※ツリーウィンドウ、リストウィンドウで任意のフォルダーにチェックを入れると、そのフォルダーに格納されているすべてのファイル・フォルダーにチェックが入ります。

バックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。



A

A

「追加」：
条件設定画面に移ります。（次画面）

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。



最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
ファイル・フォルダーの場所に関わらずバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

上記のどちらかを設定したら、以下の項目のうち必要な条件を設定します。

※フィルター設定する場合は、何れかのバックアップで、ファイルをバックアップ対象にしている必要があります。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、または条件式（「**正規表現を使用**」にチェック）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、または条件式（「**正規表現を使用**」にチェック）を記入します。

「次より大きいファイルはバックアップしない」：
ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

「次より古いファイルはバックアップしない」：
更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

ホーム画面で「設定」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。最初に「スケジュール」の設定画面について説明します。ここでは、バックアップスケジュールの設定を行います。



「等間隔でバックアップする」：

設定した時間間隔でバックアップを実行します。

※前回のバックアップが完了してから、ここで設定した時間が経過した時にバックアップが実行されます。デフォルトで2時間になっていますが、ファイルを更新する頻度が高くなければ、間隔をより長く変更することをお勧めします。

「バックアップデータ整合性チェックの実行間隔」：

バックアップ対象になっているファイル・フォルダーの中で、バックアップ漏れがないか等をスキャンするタイミングを設定します。

「スケジュールを設定する」：

設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

バックアップスケジュールは、「等間隔」もしくは「一定の時刻」のどちらかを選択できます。等間隔でバックアップする時は、「等間隔でバックアップする」にチェックを入れ、一定の時刻を設定する時は「スケジュールを設定する」にチェックを入れ、時刻、曜日の設定を行ってください。

次に「リソース最適化」の設定画面について説明します。ここでは、ネットワーク帯域の設定やアプリの動作設定を行います。



「マルチスレッドでアップロードする（高速バックアップ）」：

アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。ただし、パソコンのリソースをより多く消費するため、パソコン全体の動作が重くなります。通常はチェックを外しておいてください。

「ネットワーク帯域の設定を有効にする」：

このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「帯域の設定をスケジュールする」：

このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になる様に設定することができます。

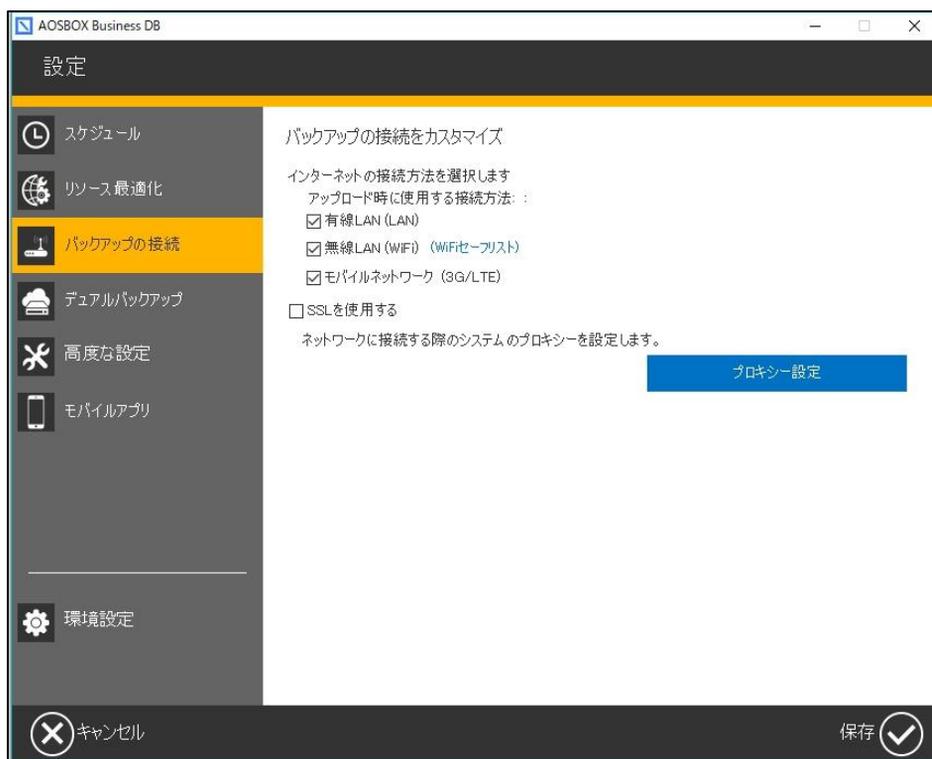
「プレゼンテーションモードを有効にする」：

プレゼンテーション、フルスクリーンでのゲームプレイの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「バッテリーモードを有効にする」：

バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

次に「バックアップの接続」の設定画面について説明します。ここでは、インターネットへの接続方法の設定を行います。



「インターネットの接続方法を選択します」：

バックアップを行うタイミングを「有線LAN」「無線LAN」「モバイルネットワーク」の接続方法の中から選択して、制限することができます。さらに「無線LAN」では、WiFiセーフリストを設定して接続先を限定することができます。

「SSLを使用する」：

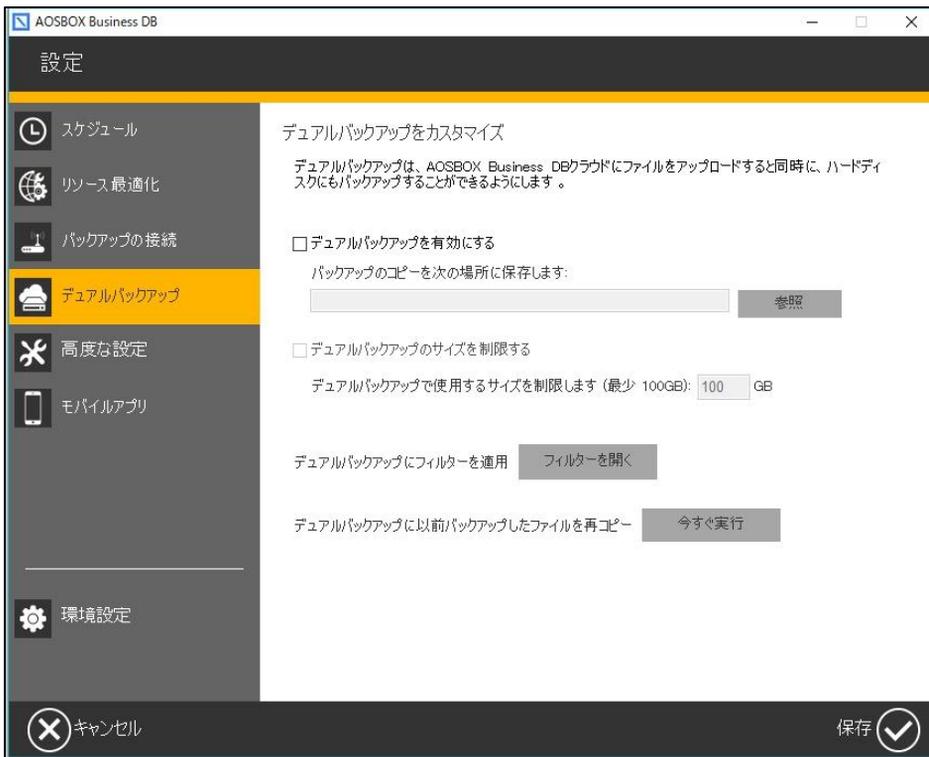
SSLポート(443)を使用して通信したい場合にチェックを入れます。

※**チェックを入れない場合は通常のポート(80)を使用します。SSLによる暗号化は、どちらの場合も有効です。**

「プロキシ設定」：

お使いのOSのインターネットのプロパティ設定画面が起動します。

次に「デュアルバックアップ」の設定画面について説明します。ここでは、クラウドへバックアップしたものと同一バックアップをローカル上のドライブにも取る場合の設定を行います。



「デュアルバックアップを有効にする」：

このチェックを入れると、デュアルバックアップが有効になります。「参照」をクリックしてドライブにバックアップする場所を指定してください。

「デュアルバックアップのサイズを制限する」：

このチェックを入れると、ドライブにバックアップするサイズを制限することができます。最小100GBから指定する事ができます。

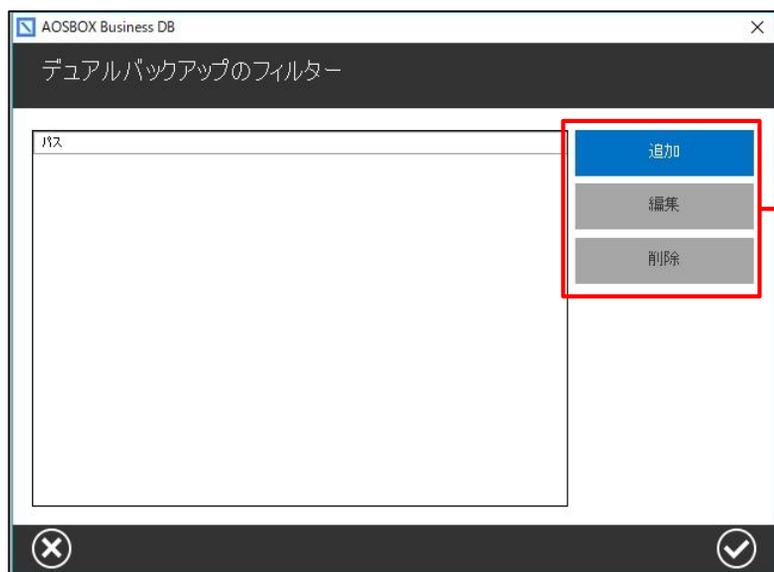
「デュアルバックアップにフィルターを適用」：

次ページをご参照ください。

「デュアルバックアップに以前バックアップしたファイルを再コピー」：

「今すぐ実行」をクリックするとデュアルバックアップを開始する以前にAOSBOXクラウドへバックアップしていたデータを、デュアルバックアップに含めることができます。

デュアルバックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。



「追加」：
条件設定画面に移ります。（次画面）

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。



最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
ファイル・フォルダーの場所に関わらずデュアルバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

上記のどちらかを設定したら、以下の項目のうち必要な条件を設定します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、または条件式（「正規表現を使用」にチェック）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、または条件式（「正規表現を使用」にチェック）を記入します。

次に「高度な設定」の設定画面について説明します。ここでは、各種詳細な設定を行います。



「選んでバックアップにおいて隠しファイルを表示する」：

「選んでバックアップ」で隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「パソコン起動時にAOSBOX Business DBを実行する」：パソコンの起動と同時にAOSBOX Business DBも起動します。通常はチェックを入れておいてください。また、パソコン起動時に他のプログラムの処理を優先させるために、バックアップ開始のタイミングを指定して遅らせることができます。

「VSS対象の拡張子」：拡張子を指定することで、開いているファイルやロック中のファイルが存在していてもバックアップ処理を可能にします。

「ブロックレベル対象の拡張子」：ファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間と容量を軽減することができます。

「RAW画像のプレビューを生成（要追加処理）」：

サムネイルを生成して、Web管理画面上でRAW画像をプレビュー表示できるようにします。

「Web管理ページおよびモバイルアプリでのプレビューを有効にする」：Web管理画面およびモバイルアプリ上で画像をプレビューできるようにします。また、サイズを指定してより大きなファイルのプレビューは制限をかけることもできます。

「AOSBOX Business DBのマーカーを表示する」：

バックアップファイルのアイコンに、状況に応じたバックアップマーカーを表示します。

「右クリックメニューを有効にする」：

ファイル・フォルダーにカーソルを合わせて、右クリックからバックアップ対象にすることができます。

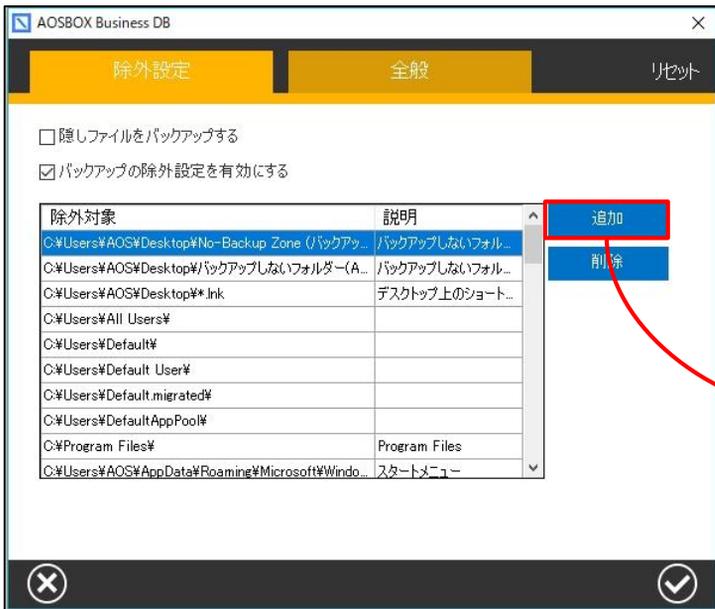
次に「モバイルアプリ」の設定画面について説明します。ここでは、AOSBOX Business DB Viewerのダウンロードを行います。AOSBOX Business DB Viewerは、パソコン用のAOSBOX Business DBでバックアップしたファイルを閲覧、管理するためのアプリです。



「AOSBOX Business DB Viewerをダウンロード」：

AOSBOX Business DB Viewerのダウンロードページへ進みます。詳しくは別紙「AOSBOX Viewer マニュアル」をご参照ください。

次に「環境設定」の設定画面について説明します。ここでは、バックアップ対象の除外や、ログファイル取得についての設定を行います。



「隠しファイルをバックアップする」：

隠しファイルをバックアップ対象にする場合にチェックを入れます。

「バックアップの除外設定を有効にする」：

バックアップしたくないフォルダーのパスを指定して、バックアップ対象から除外する場合にチェックを入れます。

「追加」をクリックすると右のウィンドウが表示されるので、「除外対象」ボックスに除外したいフォルダーのパスを入力して「追加」をクリックします。また、必要であれば「説明」ボックスにわかりやすい説明を記入します。



「ログファイルを取得する」：

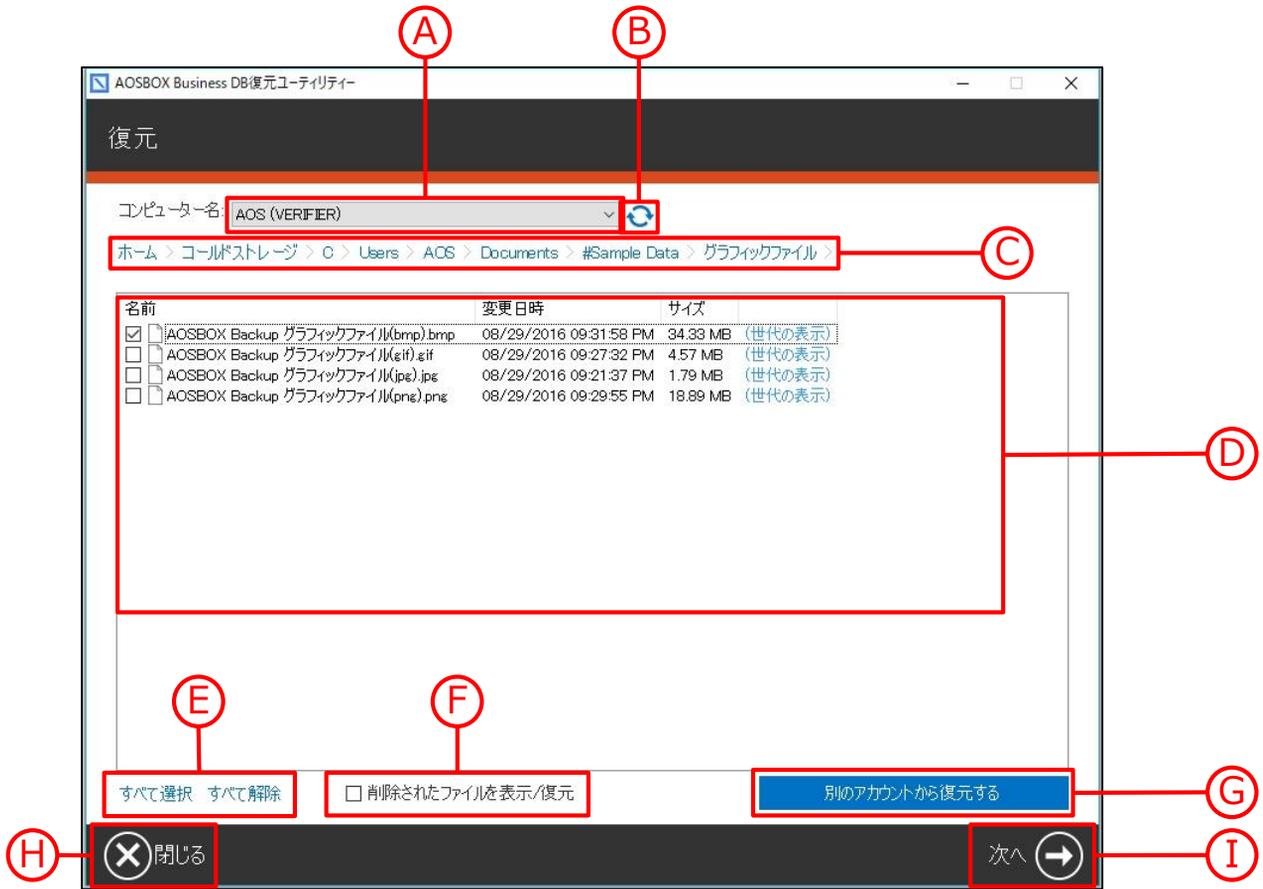
AOSBOX Business DBの動作履歴を取得したい場合にチェックを入れます。「ログを開く」をクリックすると、ログファイルの保存場所を参照できます。

「キャッシュドライブを変更」：

AOSBOX Business DBのキャッシュファイルを保存するドライブを変更できます。空き容量が2GB以上でNTFSフォーマットのドライブを選択してください。



ホーム画面で「復元」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



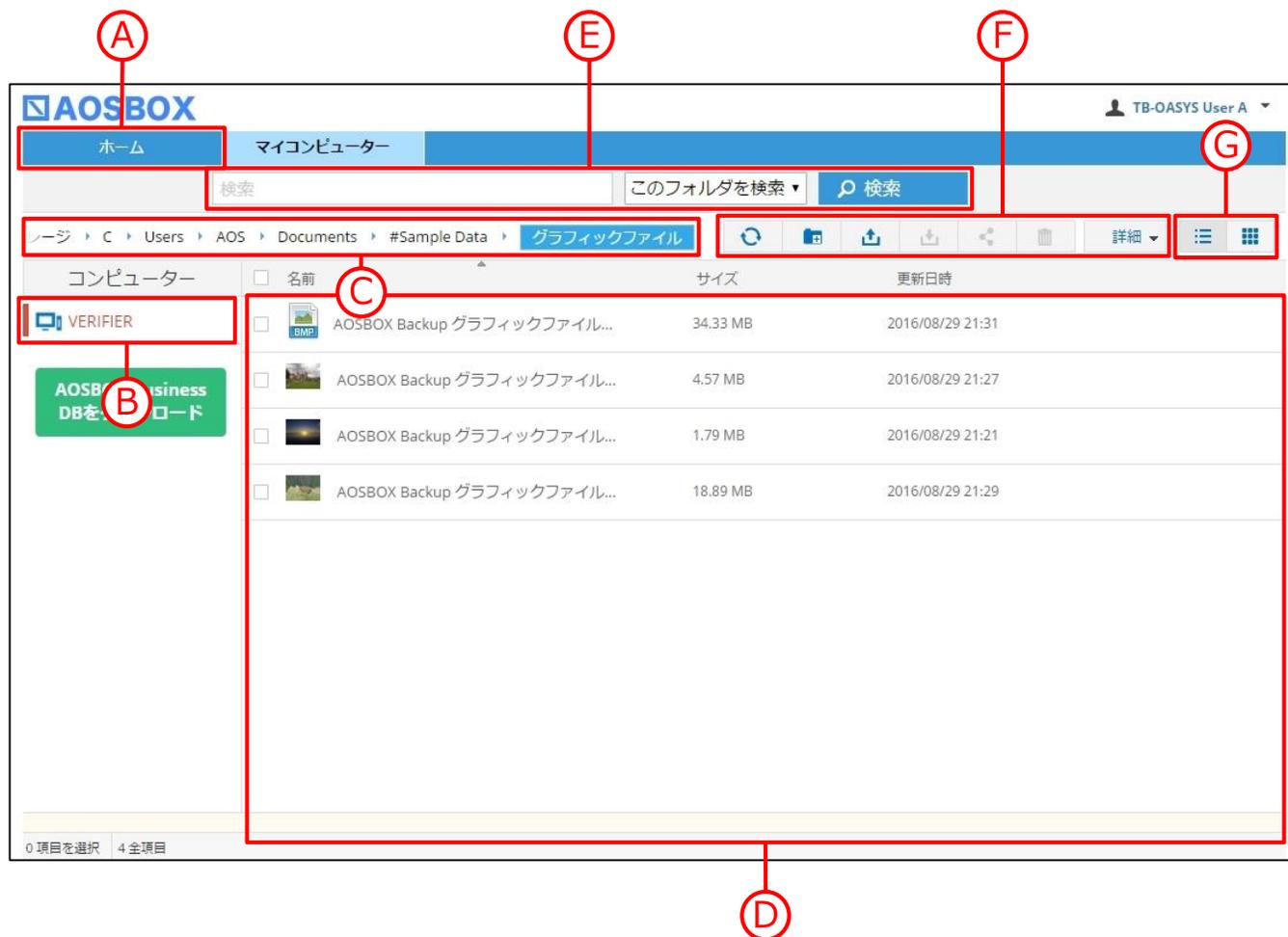
- (A) バックアップしているパソコンの名前を表示しています。
- (B) 表示している内容を最新の情報に更新します。
- (C) 下のウィンドウに表示しているファイルの保存場所（フォルダー）を表示しています。各フォルダー名をクリックすることにより、フォルダー内容を参照することができます。
- (D) バックアップしているファイル・フォルダーの一覧を表示しています。
- (E) ウィンドウ「D」に表示されているファイル・フォルダーのチェックを一括（選択／解除）します。
- (F) チェックを入れると、パソコンから削除されたファイル・フォルダーを表示します。
- (G) 別のアカウント（例：別のパソコンでバックアップしたデータ）から復元したい場合に、使用するボタンです。
- (H) このウィンドウを閉じます。
- (I) 復元の詳細手順へ進みます。詳しくは「4. 復元」の解説をご参照ください。

この画面では、使用中のコンピューター、ストレージ使用量等、AOSBOX Business DBを使用するにあたって基本的な情報を表示しています。

The screenshot shows the AOSBOX Business DB management interface. At the top, there is a navigation bar with 'ホーム' (Home) and 'マイコンピューター' (My Computer) tabs. The user is logged in as 'TB-OASYS User A'. Below the navigation bar, there is a 'バックアップ概要' (Backup Summary) section. This section contains three main panels: 'パソコン' (PC), 'コールドストレージ' (Cold Storage), and 'クイックリンク' (Quick Links). The 'パソコン' panel shows 3 total, 2 remaining, and 0 temporarily stopped, with 1 currently in use. The 'コールドストレージ' panel shows 1.16 GB in use. The 'クイックリンク' panel has links for 'パソコンを表示' (Show PC) and 'アカウント設定' (Account Settings). Callouts A-F point to specific elements: A points to the 'マイコンピューター' tab, the 'パソコンを表示' link, and the 'コンピューターを表示' button; B points to the user name; C points to the 'AOSBOX Business DBをダウンロード' button; D points to the 'バックアップ概要' section; E points to the '1.16 GB' usage; and F points to the 'アカウント設定' link.

- (A) 「マイコンピューター」へ移動します。
- (B) 現在ログインしているアカウントを表示しています。ここからアカウント設定、ログアウトが可能です。
- (C) AOSBOX Business DBクライアントプログラムをダウンロードします。
- (D) このアカウントで使用中のパソコン台数を表示しています。
- (E) 使用中の容量を表示しています。
- (F) 「アカウント設定」へ移動します。

この画面では、バックアップしているファイル・フォルダーの詳細を表示します。また、この画面上でファイル・フォルダーのアップロード、ダウンロードを行うことができます。



- Ⓐ 「ホーム」へ移動します。
- Ⓑ 現在参照しているコンピューターの名前を表示します。
- Ⓒ 現在参照しているパスを表示します。
- Ⓓ 現在参照しているフォルダーの内容詳細を表示します。
- Ⓔ プルダウンから「このフォルダを検索」、「すべて検索」を選択して任意のファイル・フォルダーを検索します。
- Ⓕ 次ページ以降をご参照ください。
- Ⓖ ファイル・フォルダーの表示形式をリスト形式/アイコン形式に切り換えます。

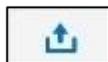
F 項目別に以下をご参照ください。



: 画面の再読み込み（更新）を行います。



: 現在参照しているフォルダー内に新しいフォルダーを作成します。



: 現在参照しているフォルダー内に任意のファイルをアップロードします。（詳細はP40へ）



: 現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーをダウンロードします。（詳細はP32以降へ）



: 現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーを削除します。

「詳細」をクリックすると、以下の拡張メニューを表示します。

◀ 世代を表示

: バックアップしたファイルのバージョン履歴を一覧で表示します。以下の図の様に、バックアップした世代別でダウンロードすることができます。

バージョン履歴				×
名前	操作	サイズ	更新日時	
AOSBOX Backup グラフィックファイル... (最終)	ダウンロード	2.02 MB	2017/05/30 16:29	世代C
AOSBOX Backup グラフィックファイル... (3)	ダウンロード 削除	2.02 MB	2017/05/30 16:28	世代B
AOSBOX Backup グラフィックファイル... (2)	ダウンロード 削除	2.02 MB	2017/05/30 16:28	世代A
AOSBOX Backup グラフィックファイル... (1)	ダウンロード 削除	1.79 MB	2016/08/29 21:21	

✕ 削除したファイルを表示

: バックアップ後にパソコン上から削除したファイル・フォルダーの(表示/隠す)を行います。削除したファイル・フォルダーは、以下の図の様に薄い字(サイズ、更新日時は赤字)で表示されます。これらの削除ファイルは、通常ファイルと同様に復元が可能です。

<input type="checkbox"/>	名前	サイズ	更新日時
<input type="checkbox"/>	 AOSBOX Backup ドキュメントファイル...	33.23 KB	2016/02/29 20:37
<input type="checkbox"/>	 AOSBOX Backup ドキュメントファイル...	40.83 KB	2013/10/29 18:00
<input type="checkbox"/>	 AOSBOX Backup ドキュメントファイル...	12.95 KB	2013/10/29 17:53
<input type="checkbox"/>	 AOSBOX Backup ドキュメントファイル...	56 B	2016/09/06 11:14
<input type="checkbox"/>	 AOSBOX Backup ドキュメントファイル...	8.77 KB	2013/10/29 17:56

削除ファイル

リモート復元

: 現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーをリモート操作によりアプリから復元します。(詳細はP34以降へ)

キーボードショートカット

: キーボードショートカットの一覧を表示します。

この画面では、名前、メールアドレス、パスワードの更新を行うことができます。それぞれ変更したい項目の「編集」をクリックします。

この画面では、名前、メールアドレス、パスワードの更新を行うことができます。それぞれ変更したい項目の「編集」をクリックします。

名前、メールアドレスの更新

名前、メールアドレスの更新

変更したい項目を入力して、「更新」をクリックします。

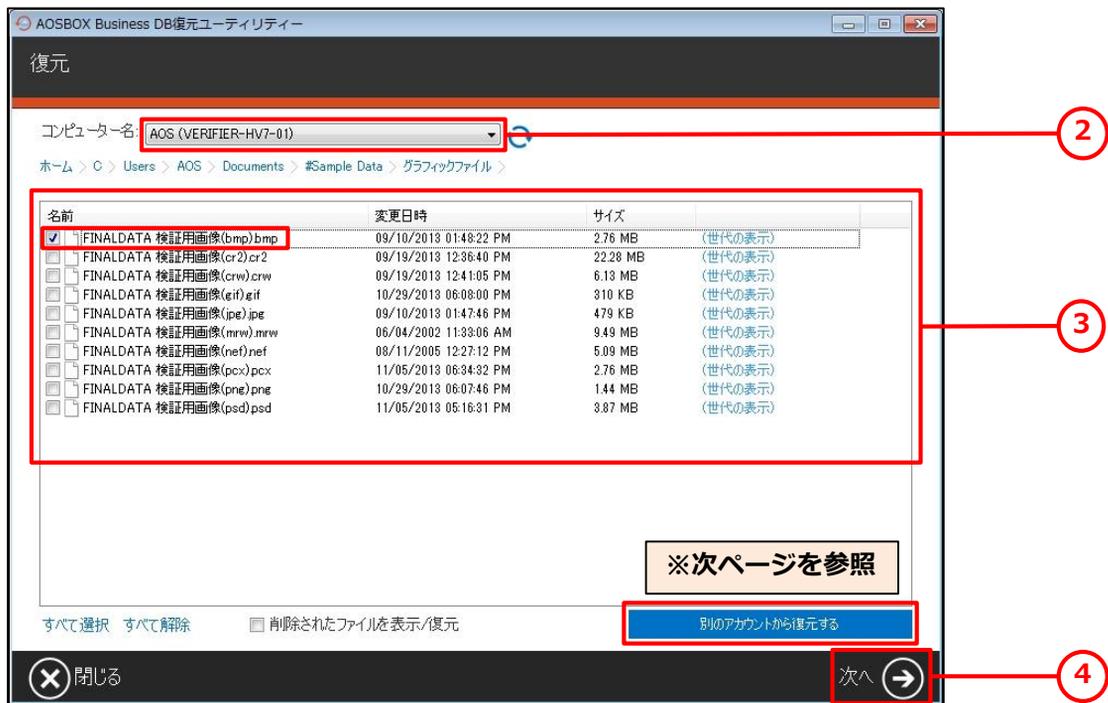
パスワードの変更

パスワードの変更

「今までのパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」すべてを入力して、「パスワードを変更」をクリックします。

アプリからバックアップデータを復元する方法を説明します。
 ※復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。

- ① AOSBOX Business DBを起動してホーム画面で「復元」をクリックし、以下のウィンドウを表示します。



- ② 復元したいデータがあるコンピューターを、プルダウンメニューから選択します。

- ③ フォルダーアイコンをクリックして、復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。※「(世代の表示)」をクリックすると以下ウィンドウが表示され、復元したい世代を選択することもできます。



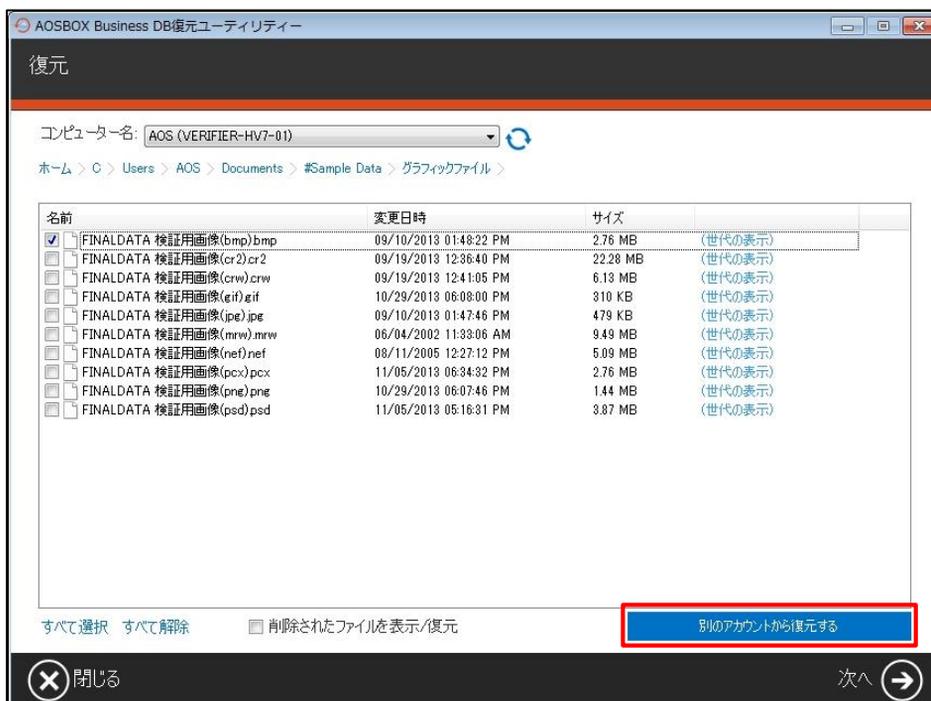
④

上図の「→」をクリックします。世代を選択した場合は、右図の「✓」をクリックします。

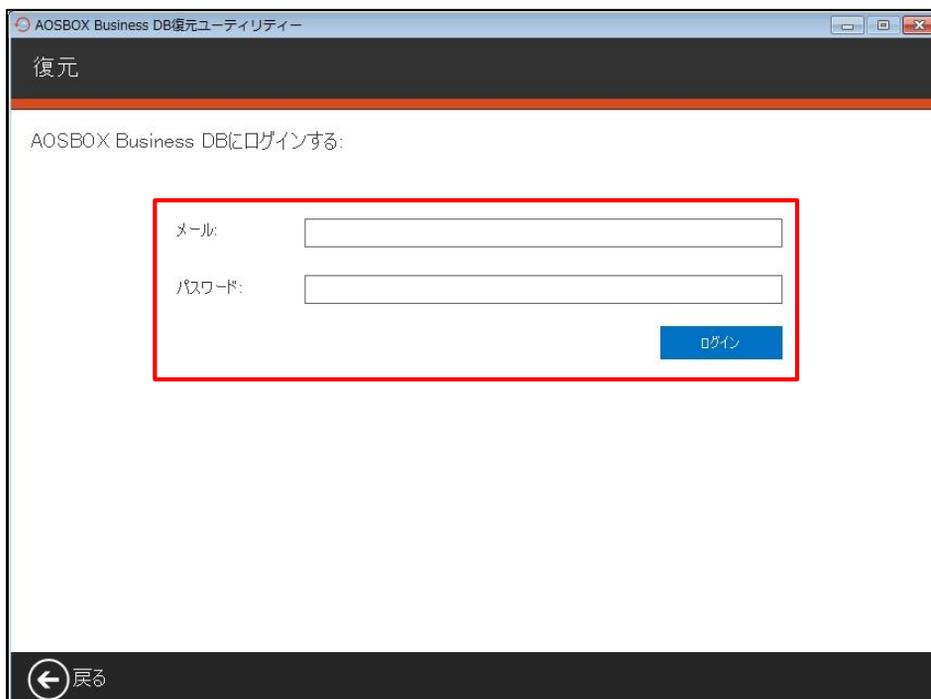
世代を選択した場合

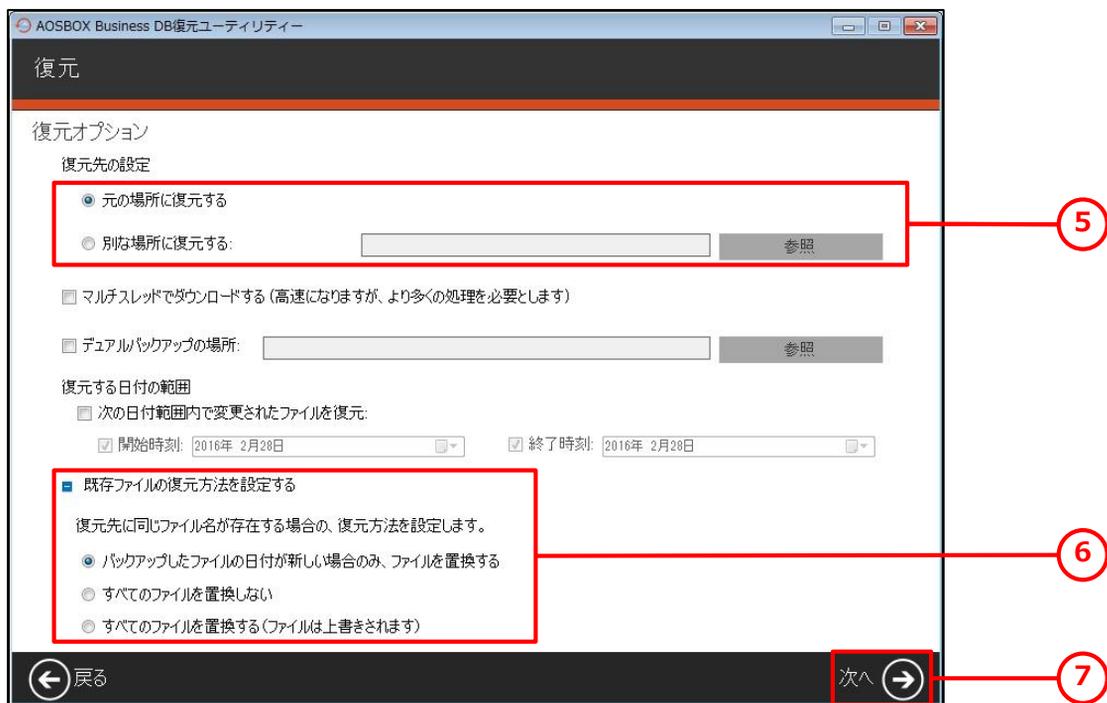
④

「別のアカウントから復元する」をクリックして、現在のパソコンに登録しているアカウントとは別のアカウントから復元を行うことも可能です。



復元したいデータがあるアカウントの情報を入力します。以降の手順は通常の復元と同じです。





- ⑤ ファイル・フォルダーを復元する場所を選択します。別の場所に復元する場合は、「参照」をクリックして保存場所を指定します。

マルチスレッドでダウンロードする：ダウンロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。通常はチェックを外しておいてください。

デュアルバックアップの場所：デュアルバックアップを設定している場合、ここにアドレスが表示されます。

復元する日付の範囲：チェックを入れて開始時刻と終了時刻を設定すると、復元範囲を限定することができます。

- ⑥ 復元先でファイル・フォルダーが重複した場合の処理を選択します。

「バックアップしたファイルの日付が新しい場合のみ、ファイルを置換する」

→復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルを比較して、復元しようとしているファイルの方が新しい場合のみ、新しいファイルでパソコン上のファイルを上書きします。

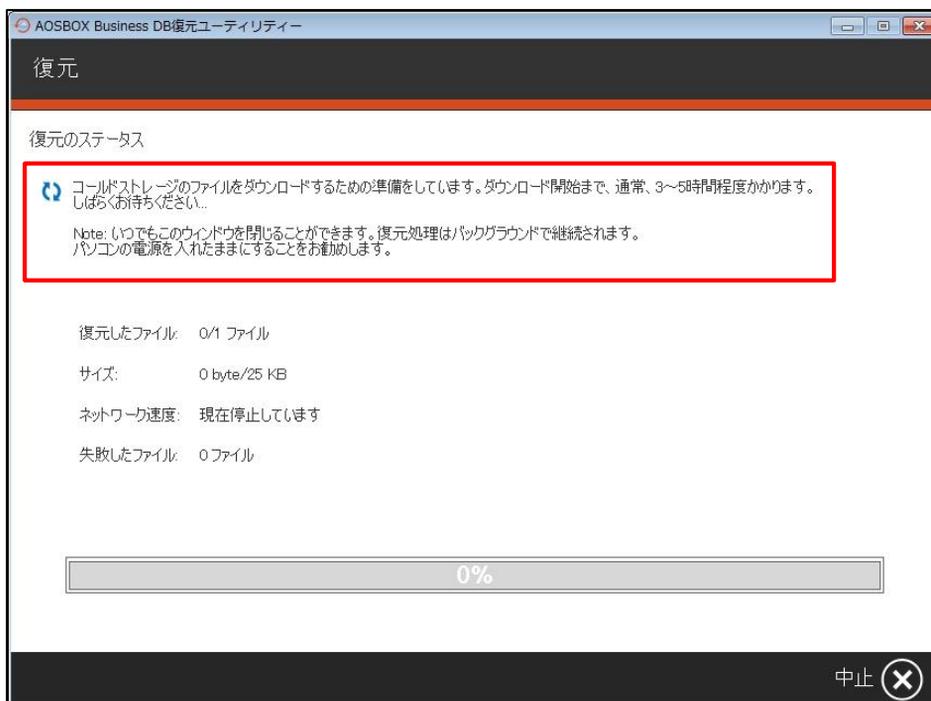
「すべてのファイルを置換しない」

→復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルが重複した場合、そのファイルは復元しません。

「すべてのファイルを置換する（ファイルは上書きされます）」

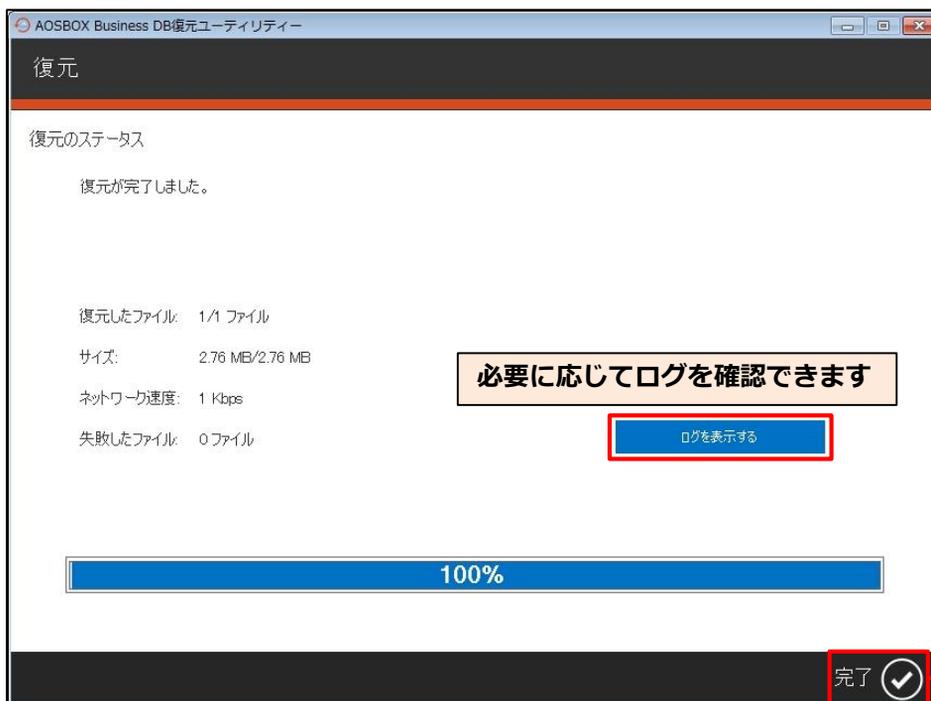
→復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルが重複した場合、ファイルの新旧にかかわらずクラウドでバックアップしていたファイルでパソコン上のファイルを上書きします。

- ⑦ 「→」をクリックすると、復元を開始します。



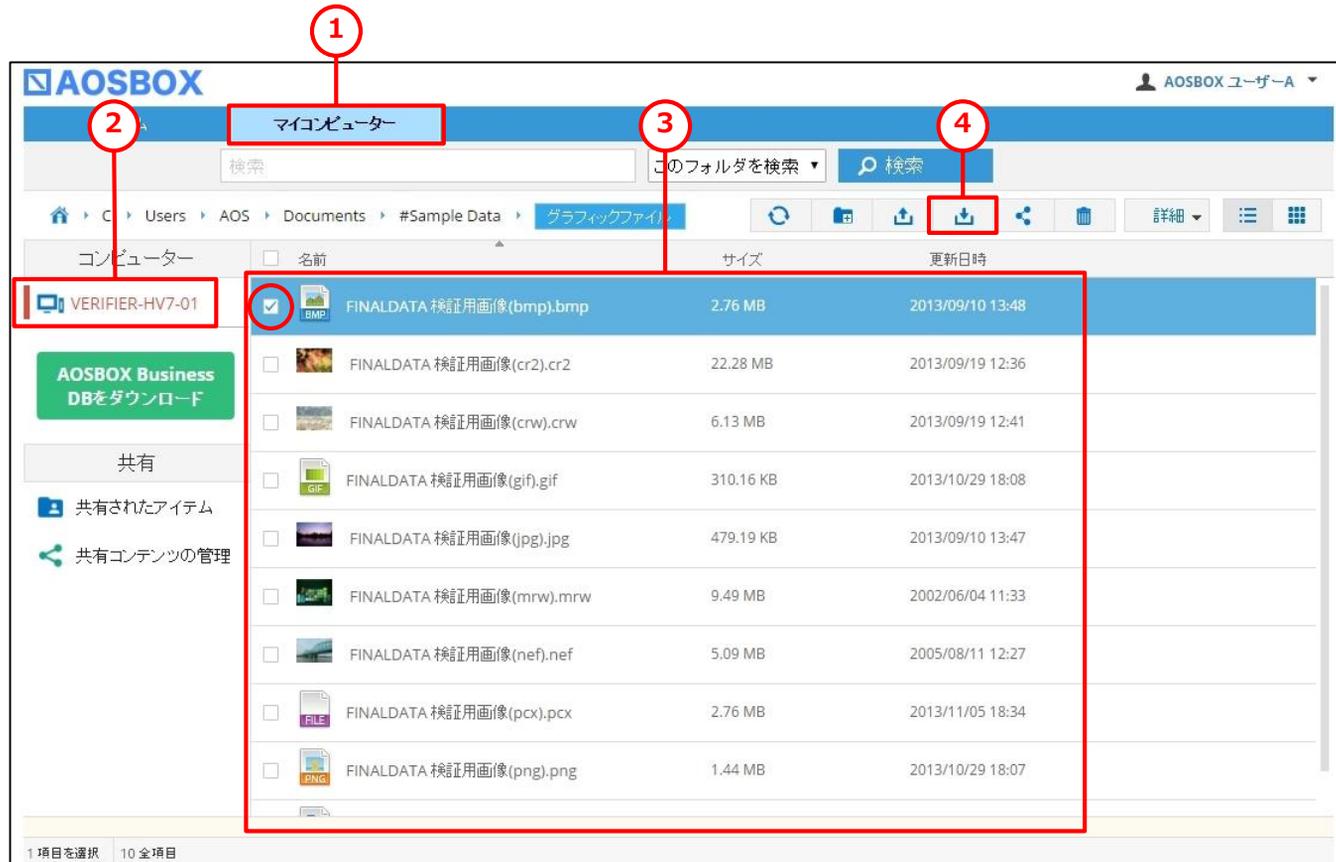
コールドストレージからの復元の場合、左画面が表示されます。

ダウンロードが開始可能になるまで、3～5時間程度の時間を要します。PCの電源は入れたままにしておいてください。



8 復元が完了します。「完了」をクリックして、ホーム画面に戻ります。

Webブラウザからバックアップデータを復元（ダウンロード）する方法を説明します。
 ※復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。

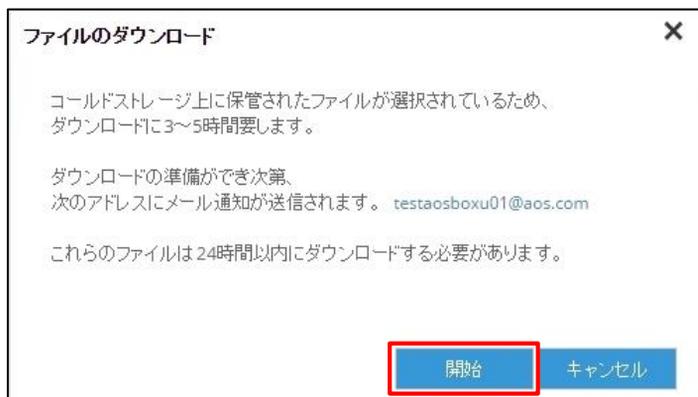


- ① マイコンピュターへ移動します。
- ② 復元したいデータがあるコンピューターを選択します。
- ③ アイコンをクリックして復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。
- ④ 「ダウンロード」をクリックします。

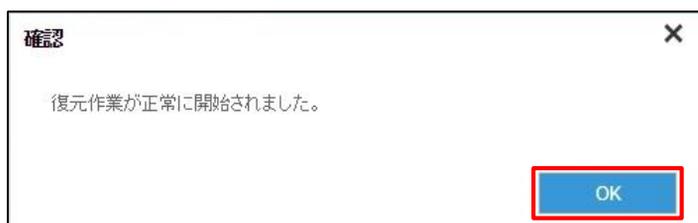


複数ファイルを同時にダウンロードした場合は、「Download.zip」という一つのファイルにまとまっています。圧縮されていますので、解凍してお使いください。

- ⑤ 以下のポップアップが表示されますので、確認の上「開始」をクリックします。
ダウンロードが開始可能になるまで、3～5時間程度の時間を要します。



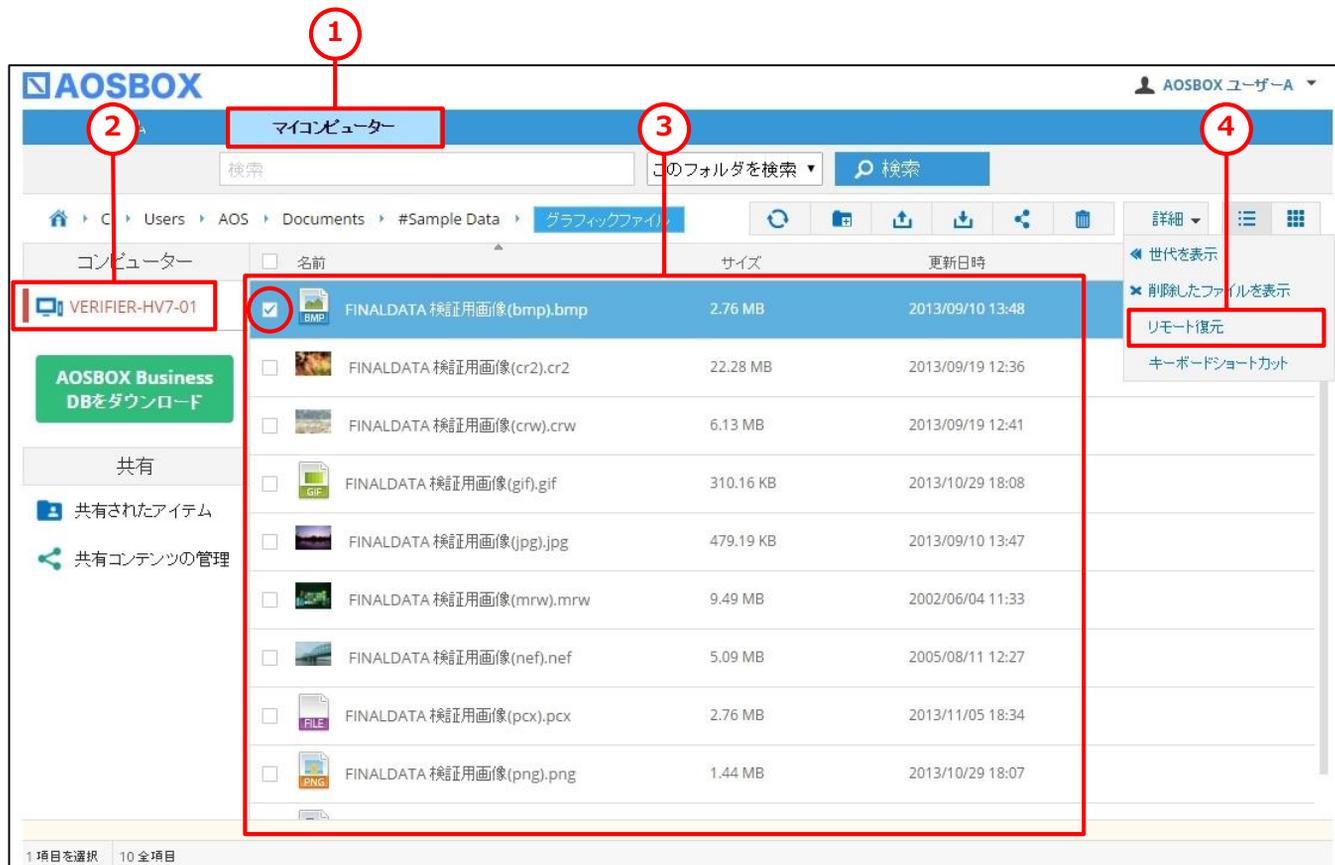
- ⑥ 以下のポップアップが表示されますので、「OK」をクリックします。



- ⑦ 送信されたメールのリンクからファイルを復元（ダウンロード）します。

バックアップデータの復元は、基本的には**アプリから行う**ようにしてください。Webコンソールからのダウンロードも可能ですが、Webコンソールの場合、コールドストレージの容量制限（ダウンロードは一日100MBまで）があったり、ネットワーク環境によっては、セッションのタイムアウトが起こるためです。

Webブラウザ経由のリモート操作によりアプリからバックアップデータを復元する方法を説明します。
 復元先はAOSBOX Business DBがインストールされているパソコンとなります。
 ※復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。



- ① マイコンピユーターへ移動します。
- ② 復元したいデータがあるコンピューターを選択します。
- ③ アイコンをクリックして復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。
- ④ 「詳細」 → 「リモート復元」をクリックして、リモート復元のオプション（次ページ図）を表示します。

リモート復元のオプション

復元先

対象のパソコン: VERIFIER-HV7-01

元の場所に復元

別の場所に復元

マルチスレッドでダウンロードする(高速ですが、より多くのリソースを消費します)

復元する日付範囲

指定した日付範囲内のファイルを復元:

開始: 月, 2月 29, 2016 終了: 月, 2月 29, 2016

既に存在するファイルを上書きする設定

ファイルが既に復元場所に存在する場合は、次の設定を行います:

復元するファイルが新しい場合にのみファイルを上書きする

すべて上書きしない

すべて上書きする

Note: リモート復元は15分以内に開始されます

⑤ 各オプション（参考：P30）を選択して「OK」をクリックすると、15分以内に復元を開始します。

⑥ 以下のポップアップが表示されますので、「OK」をクリックします。

成功

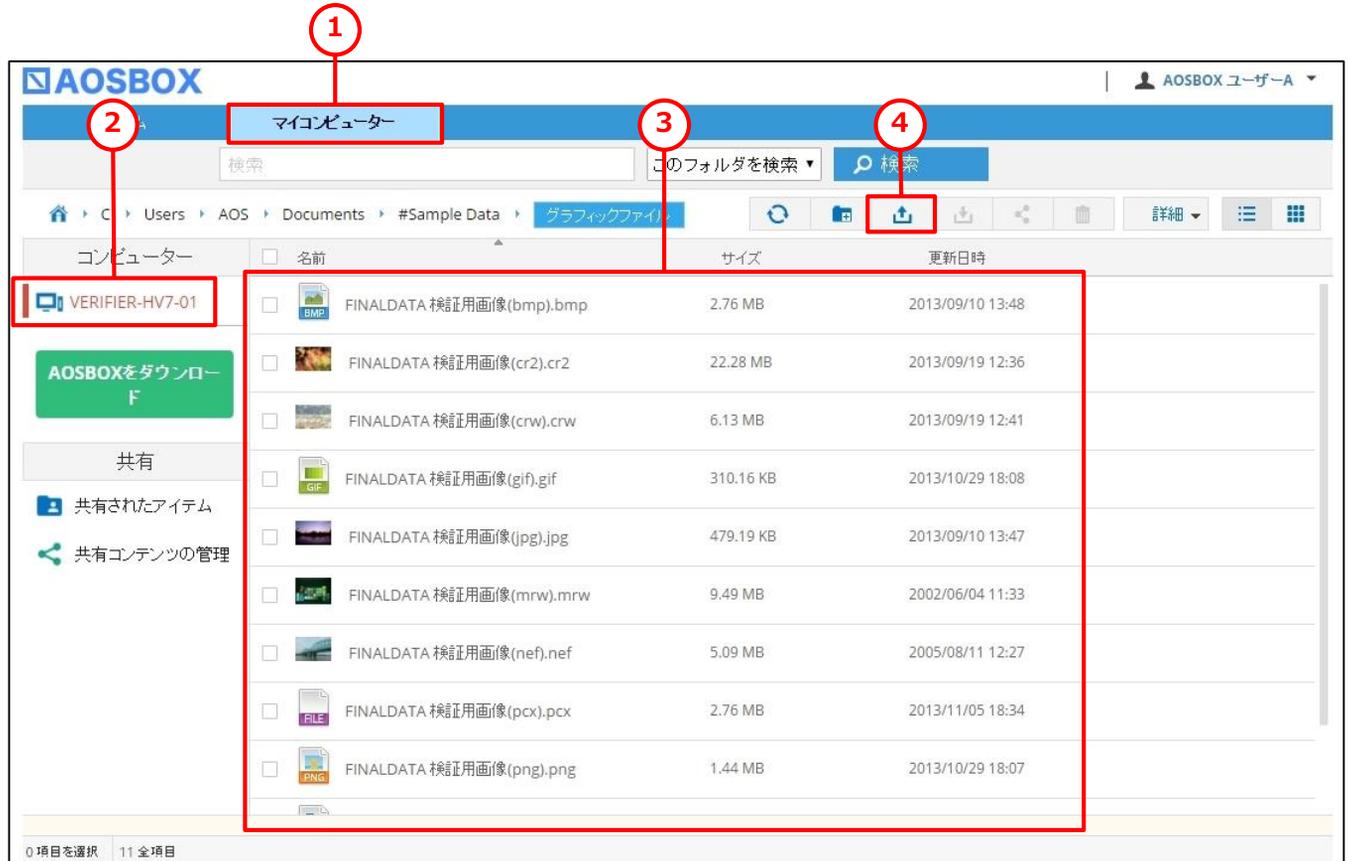
リモート復元が開始されました。

⑦ 復元完了後、タスクトレイに表示されるAOSBOX Business DB復元ユーティリティアイコンをクリックして、さらに「開く」をクリックすると、復元結果の詳細を確認できます。

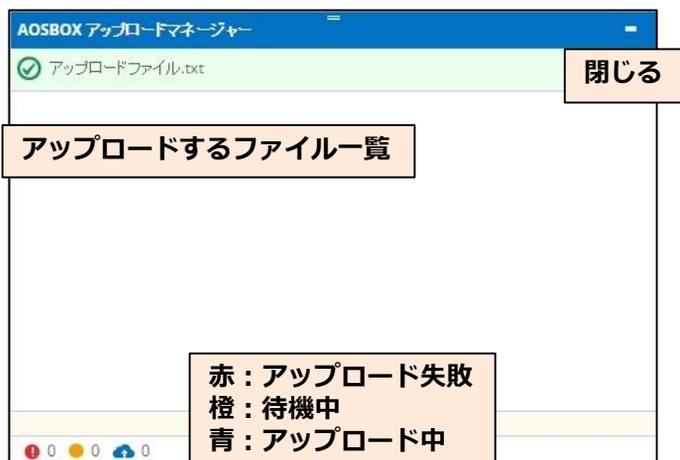
AOSBOX Business DB
復元ユーティリティアイコン：



Webブラウザを使用してファイル・フォルダーをアップロードする方法を説明します。



- ① マイコンピュータへ移動します。
- ② アップロード先のコンピューターを選択します。
- ③ アイコンをクリックして、アップロード先のフォルダーを表示します。
- ④ 「アップロード」をクリックして、ファイルをアップロードします。OSの「開く」ウィンドウが表示されますので、アップロードしたいファイルを選択して「開く」をクリックしてください。



アップロード中は、左の「AOSBOX アップロードマネージャー」が表示され、アップロード状況をお知らせします。アップロードが終了しましたら、このウィンドウは閉じてください。

ちょっとメモ

ファイル・フォルダーのアップロードは、Webブラウザでアップロード先のフォルダーを表示させて、そこへドラッグ&ドロップすることでも可能です。

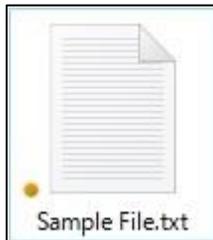
6. バックアップマーカ

各ファイル・フォルダーのバックアップ状況につきましては、「バックアップマーカ」で確認することができます。バックアップ対象のファイル・フォルダーアイコンの左下部分に小さな印が付与されています。



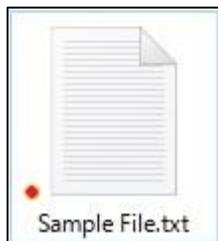
Coolマーク :

最新の状態
でバックアップ
されています。



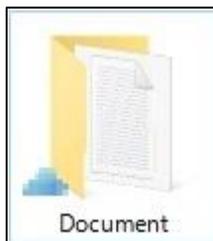
橙色マーク :

バックアップ
されていますが、
前回のバック
アップからフ
ァイルが更新
されています。
(最新の状
態がまだバ
ックアップ
されていま
せん。)



赤色マーク :

バックアップ
対象になって
いますが、ま
だ一度もバ
ックアップ
されていま
せん。



雲マーク :

バックアップ
対象になって
いるフォル
ダーを意味
しています。

バックアップ対象にも関わらず、マーカが付与されていない場合は、以下の手順でマーカを付与するよう設定することができます。

【バックアップマーカの設定方法】

1. タスクトレイにあるAOSBOX Business DBアイコンを右クリックします。
2. 「AOSBOX Business DB ホーム画面を表示する」をクリックして、ホーム画面を表示します。
3. 「設定」をクリックします。
4. 「高度な設定」をクリックします。
5. 「AOSBOX Business DBのマーカを表示する」にチェックを入れます。
6. 右下の「保存」をクリックして、次に表示されるウィンドウで「はい(Y)」をクリックすれば設定完了です。

※バックアップが完了しているにもかかわらずCoolボタンになっていない時は、Windowsのファイルが更新されていない可能性があります。フォルダーの空欄を右クリックして「最新の情報に更新」をクリックすると、ファイルの状態が最新になりCoolボタンになります。

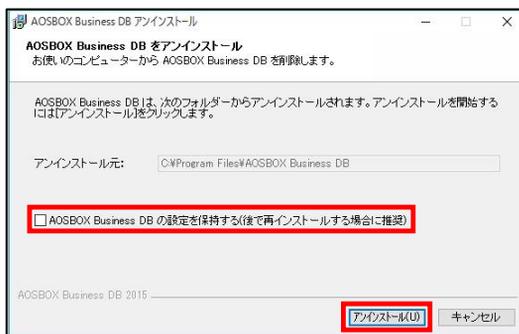
7. アプリのアンインストール

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをアンインストールします。アンインストールは、**必ず管理者アカウントを削除する前**に行ってください。

- ① お使いのOSの「プログラムと機能」から「AOSBOX Business DB」を選択して「アンインストール」をクリックします。

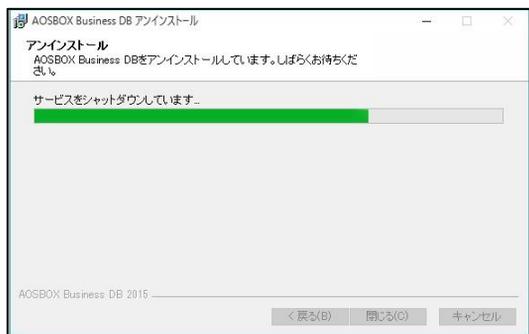


- ② 「AOSBOX Business DB アンインストール」ダイアログが表示されます。**チェックボックスのチェックを外してから**、「アンインストール(U)」をクリックします。

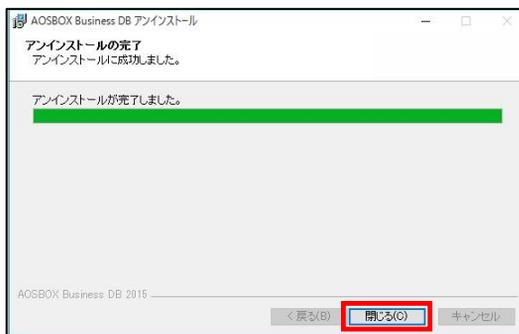


② 「AOSBOX Business DB の設定を保持する」のチェックボックスは、以後ご利用にならない場合、不具合のため再インストールする場合は、チェックを外してください。

- ③ アンインストールが始まります。しばらくするとアンインストールが終了します。



- ④ アンインストールが完了しました。「閉じる(C)」をクリックします。



アカウントの削除については、事前に販売店へご連絡の上、指示に従ってください。



AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■動作環境

■対応OS

Windows 10 (32bit / 64bit 対応)
Windows 8/8.1 (32bit / 64bit 対応)
Windows 7 (32bit / 64bit 対応)
Windows Vista (32bit / 64bit 対応)

日本語版 オペレーティングシステム

※インストールには管理者 (Administrator) 権限が必要です。

■メモリ

上記OSが正常に動作し、512MB以上 (1GB以上を推奨)

■ハードディスク

200MB以上の空き容量 (プログラムファイル用)

※バックアップするファイル群のうち、一番サイズの大きいファイル分の空き容量がシステムドライブに必要となります。

■対応機種

PC / AT互換機

Intel Pentium® 4以上、AMD Athlon™ 64以上、または互換プロセッサ

■画面解像度

1024 x 768以上

■ネットワーク

128kbps以上 (推奨512kbps以上)

■ブラウザ

Internet Explorer 8以上、Mozilla Firefox 11以上、Google Chrome

■モバイル端末

iPhone、iPad、iPod Touch (iOS 5.0以上。App StoreにアクセスするためのApple IDが必要)

Android (Android OS 2.2以上。2MB以上のストレージ空き容量。SDカード)

Windows Phone (AOSBOX Web管理ページよりアクセス可能)



AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■おまかせバックアップ対象ファイル

■メール

- ・ Outlook 2003～2013（既定のフォルダーにある*.pstファイル）
- ・ Windows (Live) メール（既定のフォルダーにある*.emlファイル、*.contactファイル、およびstationary files、community files、.oeaccount、rules）
- ・ Outlook Express（既定のフォルダーにある*.dbxファイル、*.wabファイル）

■デスクトップ

デスクトップ上にあるショートカットを除くすべてのファイル・フォルダー

■マイドキュメント

マイドキュメント/パブリック（共有）ドキュメントフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー

■Officeファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

[.doc][.docx][.dot][.dotx][.docm][.dotm][.txt][.rtf][.wri][.abw][.odt][.ott][.stw][.vor][.sdw][.fodt][.psw][.vot][.sxw][.lwp][.wpd][.ppt][.pps][.pot][.pptx][.pptm][.potx][.potm][.ppam][.ppsx][.ppsm][.ppa][.odp][.otp][.sxi][.sti][.sxd][.sda][.sdd][.vop][.odj][.prz][.shw][.xls][.xlt][.xla][.xlsx][.xlsm][.xltx][.xltn][.xlsb][.xlam][.ods][.ots][.sxc][.stc][.dif][.slk][.fods][.pxl][.vos][.qpw][.wk1][.wk3][.wk4][.mdb][.mdw][.mda][.adb][.ade][.accdb][.accde][.accdt][.accdr][.odb][.apr][.dbf][.odf][.sxm][.pdx][.vsd][.vss][.vst][.vdx][.vsx][.vtx][.odg][.otg][.std][.fodg][.pub][.mpp][.mpd][.mpt][.mpw][.mpx]

■画像ファイル

ユーザーのマイピクチャ、およびパブリック（共有）ピクチャフォルダーにあるすべてのファイル

■音楽ファイル

ユーザーのマイミュージック、およびパブリック（共有）ミュージックフォルダーにあるすべてのファイル

■ビデオファイル

ユーザーのマイビデオ、およびパブリック（共有）ビデオフォルダーにあるすべてのファイル

■ブックマーク

Internet Explorer、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera、およびSafariのブックマーク（お気に入り）



AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■財務・会計ファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

- ・ C:¥Program Data
- ・ C:¥ACCP
- ・ C:¥OBCWIN
- ・ C:¥MSSQL7

- ・ Microsoft Money:[.mny]
- ・ Quicken:[.qbw][.qel][.qsd][.qph]
- ・ Quickbooks:[.qbb]
- ・ TurboTax:[.tax]
- ・ TaxCut:[.t01][.t02][.t03][.t04][.t05][.t06][.t07][.t08][.t09]
- ・ PeachTree:[.ptb]
- ・ その他:

[.qdf][.ypr][.kyr][.ypb][.acc][.saccp][.jbi][.jbf][.ldf][.mdf][.hb1][.hb2][.hb3][.hb4][.hb5][.hb6][.hb7][.hb8][.hb9][.hb10][.hb11][.hb12][.hb13][.hb14][.hb15][.hb16][.he1][.he2][.he3][.he4][.he5][.he6][.he7][.he8][.he9][.he10][.he11][.he12][.he13][.he14][.he15][.he16][.klb1][.klb2][.klb3][.klb4][.klb5][.klb6][.klb7][.klb8][.klb9][.klb10][.klb11][.klb12][.klb13][.klb14][.klb15][.klb16][.hlx1][.hlx2][.hlx3][.hlx4][.hlx5][.hlx6][.hlx7][.hlx8][.hlx9][.hlx10][.hlx11][.hlx12][.hlx13][.hlx14][.hlx15][.hlx16][.ad1][.ad2][.ad3][.ad4][.ad5][.ad6][.ad7][.ad8][.ad9][.ad10][.ad11][.ad12][.ad13][.ad14][.ad15][.ad16][.ab1][.ab2][.ab3][.ab4][.ab5][.ab6][.ab7][.ab8][.ab9][.ab10][.ab11][.ab12][.ab13][.ab14][.ab15][.ab16][.kd1][.kd2][.kd3][.kd4][.kd5][.kd6][.kd7][.kd8][.kd9][.kd10][.kd11][.kd12][.kd13][.kd14][.kd15][.kd16][.kb1][.kb2][.kb3][.kb4][.kb5][.kb6][.kb7][.kb8][.kb9][.kb10][.kb11][.kb12][.kb13][.kb14][.kb15][.kb16][.kt1][.kt2][.kt3][.kt4][.kt5][.kt6][.kt7][.kt8][.kt9][.kt10][.kt11][.kt12][.kt13][.kt14][.kt15][.kt16][.dd1][.dd2][.dd3][.dd4][.dd5][.dd6][.dd7][.dd8][.dd9][.dd10][.dd11][.dd12][.dd13][.dd14][.dd15][.dd16][.db1][.db2][.db3][.db4][.db5][.db6][.db7][.db8][.db9][.db10][.db11][.db12][.db13][.db14][.db15][.db16][.lb1][.lb2][.lb3][.lb4][.lb5][.lb6][.lb7][.lb8][.lb9][.lb10][.lb11][.lb12][.lb13][.lb14][.lb15][.lb16][.lx1][.lx2][.lx3][.lx4][.lx5][.lx6][.lx7][.lx8][.lx9][.lx10][.lx11][.lx12][.lx13][.lx14][.lx15][.lx16]

■電子書籍とPDFと年賀状ソフト

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

- ・ C:¥Program Data
- ・ C:¥JUST

[.azw][.tpz][.azw1][.chm][.lit][.pdb][.pdf][.mobi][.prc][.tr][.tr2][.tr3][.fb2][.opf][.aeh][.lrf][.lrx][.epub][.pdg][.pkg][.dnl][.djvu][.kml][.arg][.bfl][.bkk][.brn][.ceb][.ebk][.ebo][.ebx][.etd][.f4b][.hsb][.imp][.mbp][.mep][.nat][.oeb][.rb][.scb][.skn][.stk][.swb][.tcr][.tk3][.ubk][.vbk][.xeb][.ybk][.zvr]

- ・ 筆まめ:[.fwa][.fwb]
- ・ 筆王:[.fzd][.pdn]
- ・ 筆ぐるめ:[.fga][.fgl][.idx][.fgt]
- ・ 楽々はがき:[.jsr][.jyd]
- ・ はがきスタジオ:[.hsa][.hsd]



AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■その他

- ・インターネットへの接続環境が必要です。また、クラウド上にファイルをバックアップするため、ネットワークにある程度の負荷がかかることが予測されます。
- ・1台のパソコンにつき、1インストールでご使用ください。
- ・1ユーザーで3台のパソコンのバックアップが可能です。
- ・他のバックアップアプリケーションを同時に導入すると、AOSBOXを含むバックアップアプリケーションの動作に影響が発生することがあります。なお、AOSBOXは、Windowsサービス「Volume Shadow Copy Service」を利用します。
- ・初回のバックアップはバックアップする容量によって、1日以上時間を要することがあります。
- ・コールドストレージのデータの復元には、3~5時間程度の待機時間が発生します。
- ・バックアップしたファイルをクラウド上から削除すると、バックアップ対象から外れます。
- ・世代管理しているファイルは特定の世代だけクラウドから削除することはできません。
- ・AOSBOXの契約を解除後に再契約しても、以前のバックアップデータは削除されていますので、復元等はできかねます。
- ・サーバメンテナンスなどで復元できない時が発生する可能性がありますが、利用規約でご同意いただいた範囲外は保証できかねますので、ご了承ください。

TB-OASYS



株式会社トップ
セキュリティウス TOP